

令和6年度 実施事業

公益目的事業 報告書



令和7年4月



一般社団法人
九州地域づくり協会
Kyushu Regional Management Service Association

笑顔をつなぐ地域づくり

一般社団法人九州地域づくり協会（前身は社団法人九州建設弘済会）は、昭和40年の設立以来60年間にわたり、河川や道路を舞台とした九州各地のボランティア活動などの地域活性化支援や社会資本整備に関わる広報活動などに幅広く取り組んで参りました。

その中であって、社会資本整備に対する国民のニーズが多様化する状況を踏まえ、平成15年からは、若手研究者の育成等を兼ねた研究等助成事業、また平成17年度からは、当協会の創立40周年を記念して土木遺産発掘調査に取り組むなど、多様なニーズに応じて事業内容を充実させ今日に至っています。

さらに近年では、平成28年4月熊本地震、平成29年7月九州北部豪雨、令和2年7月豪雨をはじめとした九州地方における大災害に対し、被災自治体や

災害ボランティアへの支援等へも積極的に取り組んでいます。

平成25年4月の一般社団法人移行にあたり、内閣府へ「公益目的支出計画」を移行認可申請書の一つとして提出し、内閣総理大臣より公益目的財産額の確定通知を受け、「公益目的支出計画」が確定しています。

この「公益目的支出計画」では、平成24年度までに実施してきた公益事業（収益を伴わない事業）をあらためて公益目的事業として位置付けし、社会貢献を続けています。

本報告書では、令和6年度に実施した公益目的事業について、九州各地の地域づくりや環境美化等の活動に活躍されている方々をご紹介します。

笑顔をつなぐ九州の地域づくりの参考となれば幸いです。

令和7年4月



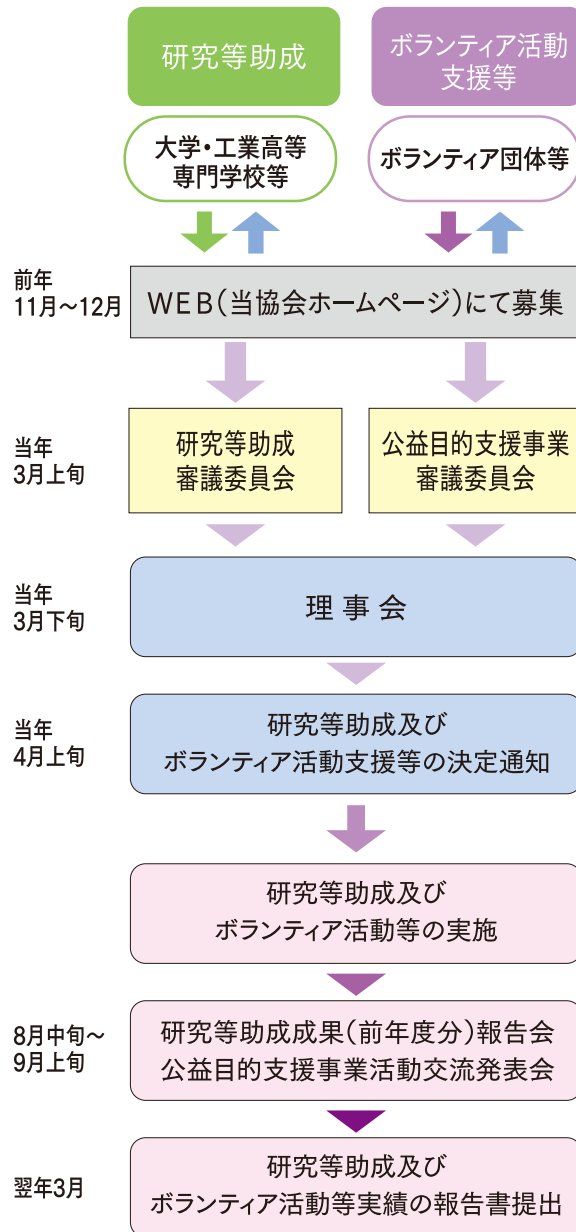


●公益目的事業の募集及び運営について

当協会では、公益目的事業として、
①社会資本整備に関する広報活動事業、②建設事業の推進及び普及のための調査研究事業、③地域活性化等支援事業、④防災活動等支援事業の4つを継続実施しています。

このうち、②の研究等助成事業は、平成25年度より、外部有識者から構成される「研究等助成審議委員会」を設け、幅広い意見を反映した運営を行っています。

また、①、③、④のボランティア活動等の支援事業についても、令和2年度より、外部有識者から構成される「公益目的支援事業審議委員会」を設け、幅広い意見を反映した運営を行っています。



令和
6年度

公益目的事業について

実施額
合計
76.3
(百万円)

1

社会資本整備に関する 広報活動 事業

実施額： 21.6(百万円)



2

建設事業の推進及び 普及のための 調査研究 事業

実施額： 28.6(百万円)



3

地域活性化等 支援事業

実施額： 17.7(百万円)



4

防災活動等 支援事業

実施額： 8.4(百万円)





【事業の概要】

国土開発の発展及び地域社会の繁栄に寄与することを目的として、国及び地方公共団体と連携を図りながら国土交行政、社会資本整備に関する広報啓発活動、講習会等を通じて、一般市民の社会資本に関する理解を深める活動を支援します。

広報活動等事業

「国土交通Day」「川の日」
「交通事故防止キャンペーン」…………… p5

講習会等事業

九州地域づくり協会主催によるセミナー等 …………… p8

九州建設資料館運営事業

協会図書室「KMAプラザ」の活用 …………… p11

【事業の概要】

九州における社会資本整備の普及とさらなる理解を図ることを目的として、社会資本整備の歴史の調査研究を行うとともに、建設技術等の推進に関する調査研究及び人材育成への助成を行います。

調査研究事業

- ①九州土木遺産調査研究 …………… p12
- ②九州地域の社会資本整備の歴史 …………… p13
- ③防災に関する調査研究 …………… p13

研究等助成事業

- ①大学等への研究助成事業 …………… p15
- ②人材育成に関する助成事業 …………… p16

【事業の概要】

社会資本整備に対する理解の醸成を目的として、河川・道路等の愛護活動を通じた地域活性化、体験学習等を通じた人材育成、地域インフラの愛護活動及び地域資源等を活かした地域活性化の活動を支援します。

河川・道路愛護活動を通じた地域活性化活動支援事業 …… p17

環境(体験)学習による人材育成活動等支援事業 …… p18

河川・道路等の愛護活動支援事業 p20

地域資源の活用による地域活性化活動支援事業 …… p24

【事業の概要】

安全・安心な暮らしに寄与することを目的として、近年の異常気象等により発生する災害に対し、公共土木施設等の整備・管理等に専門的なノウハウをもつ集団やNPO等が取り組む活動などを支援します。

災害復旧技術講習会(協会主催) p26

九州防災エキスパート会活動支援事業 p27

防災ボランティア活動等支援事業 p28

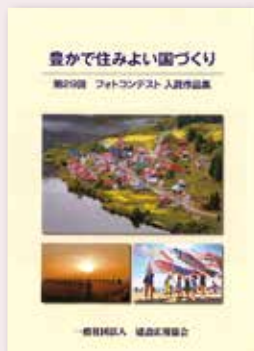
- 沈黙の語り部たちから災害歴史を学ぶ
- まちなか防災2024
～みんなで取組み水害に備えよう『白川の流域治水』～

社会資本整備に関する 広報活動事業

広報活動等事業

●全国行事

令和6年度「国土交通Day」



フォトコンテスト(国土交通Day)



出典:「川の日」実行委員会HP、公益社団法人 日本河川協会HPより

令和6年度「川の日」



出典:「川の日」実行委員会HPより



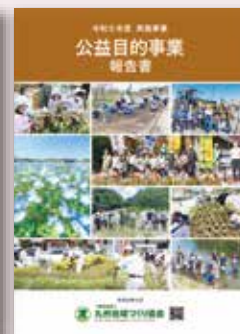
●図書等の配布



交通事故防止キャンペーン



会報九州



公益目的事業報告書



研究等助成事業
成果報告書

社会資本の整備・利活用に向けた地域活性化や啓発活動につながる事業及び全国規模開催の「国土交通Day」「川の日」等へ協賛するとともに、小・中学校で実施されている「交通事故防止キャンペーン」等へ図書を寄贈しています。

また、協会活動等を紹介する「会報九州」、河川・道路・地域づくり等の支援についての「公益目的事業報告書」及び大学等への助成についての「研究等助成事業成果報告書」を作成しています。

土木関連の広報イベントでは、土木の仕事の魅力や社会資本整備、防災対応の重要性等をPRするとともに、九州各地における様々な土木関連の広報活動についても支援を行っています。

更に、一般公募により、地域住民へ河川・道路・地域づくり等の理解を深める啓発活動(広報・学習活動等)やNPO等の社会資本整備に関する広報活動の支援を行っています。

令和6年度は、九州内の24の活動団体に対して支援を行いました。



● 広報活動事業の一部を紹介

道守清掃事業

道守柳川ネットワーク

事業の内容

- 第47回「道守」全体会議、勉強会参加
- みちづくし in 鹿屋 2024に参加
- 道守清掃活動・堀と道クリーンアップ大作戦
- 道守柳川ネットワーク会報「道守掲示板」第1号発行

事業の効果

- 道路清掃を行うことによって、公共の場所もみんなが美しくしようという意識がみられました。
- 地元中学生や高校生が道路清掃活動に参加することで、ごみのポイ捨てに対する意識改善や郷土を愛する心を育てることに貢献しました。
- 道に関する勉強会を通して、日常生活に欠かせない道路の重要性和活動の意義を再確認することができました。



道守体験事業・道守交流会

道守佐賀会議

事業の内容

- 清掃活動(佐賀まち!ごみゼロ大作戦)実施
- みちづくし in 鹿屋 2024に参加
- さが桜マラソン応援清掃の実施

事業の効果

- みちづくし in 鹿屋 2024では、活動報告や意見交換をし、今後の道守活動に対する意識向上、知識向上につながっています。
- 協同で清掃活動をすることにより、道守九州会議の佐賀会員37団体の親睦が深まりました。



Zoom UP

進路の選択肢と考えられるよう、土木の魅力をアピール!

11月18日の「土木の日」は、土木との触れ合いを通じて土木技術や土木事業に対する認識と理解を深めてもらう日です。

私たち熊本実行委員会では、この日に限らず365日を通して、バスツアーや関連行事などを楽しみながら土木に触れられるイベントを企画・展開しています。

昨年は3カ所の工事現場をめぐる、土木の先端技術を体験するバスツアーを実施しました。

当日は、小中学生33名、保護者27名、総勢60名の参加を得て、大いに盛り上がりしました。

また、高校生と土木を学ぶ大学生が語り合う哲学カフェを熊本大学工学部と共催で実施し、土木が将来の進路の選択肢となるよう、魅力を再認識してもらう機会としました。



「土木の日」熊本実行委員会
尾上 幸造 委員長



第15回 日本風景街道大学

日本風景街道大学実行委員会

事業の内容

- 講義(令和7年1月10日・11日)
- エクスカーショ(バスツアー・サイクリングツアー)

事業の効果

- 全国の風景街道や地域づくり団体、行政の方々、コンサルタントなどご参加いただき、共に学び、また意見交換を行うことができました。
- 風景街道大学を通して、地域で活動する団体や若い世代とのつながり、行政との連携体制も強化でき、仲間づくりや土台づくりができました。



みちづくし in 鹿屋 2024

みちづくし in 鹿屋2024 実行委員会

事業の内容

- 交流会(令和6年10月24日)
- 基調講演 ●地域活動報告 ●道守活動報告
- 交流集会
- 現地体験学習会(令和6年10月25日)

事業の効果

- 地域活動報告では、大学生の「社会奉仕活動」「地域おこし活動」を通じて感じたことを報告していただき、道守活動をするうえで参考になりました。
- 道守活動報告では、「道を輝かせる活動」について報告をいただき、これからの活動につなげていきたい部分がたくさんあり、また、頑張ろうといった気持ちになりました。



海の中道フラワーピクニック2024

海の中道「フラワーピクニック」実行委員会

事業の内容

- 花修景・展示花壇
- 花や植物とふれあい、春を楽しむイベント
- 青空の下で体を動かすイベント
- 広々とした空間で楽しむイベント
- 地域とつながるイベント 等

事業の効果

- 昨年度より実施期間が短かったにも関わらず、入園者数は352,616人を記録し、これはイベント開始以来、地域の魅力をより多くの方々に伝えることを念頭に継続的に取り組んできた効果の表れです。





講習会等事業

講習会等事業は、河川・道路・地域づくり・防災等の社会資本整備に関する講習会や、地域活性化につながる活動団体の活動交流

発表会を開催し、支援しています。令和6年度は、以下4件を主催しました。

第11回 地域づくり政策セミナー

■日時: 令和6年12月6日(金) 13:30~16:50

■会場: TKP博多駅前シティセンター ホールA 受講者160名(会場参加94名、Web参加66名)

■目的:

人口減少や少子化、高齢化による地域経済の衰退が進む中、閣議決定された国土形成計画(全国計画)で「住んでよし」「働いてよし」「育ててよし」が実感できる生活圏の形成が掲げられました。

今回のセミナーでは、地域に根ざし、地域の特徴を活かし、地域で活動する若者にスポットを当て、地域の魅力や課題、地域力を醸成する取り組みについて議論し、知見をいただくために開催しました。

■セミナー内容 "豊かなマチ・ムラづくり"~「住んでよし」「働いてよし」「育ててよし」が実感できる九州を目指して~

1)基調講演

「ムラの資源を活かした新たな生業、人材が地域の国土を守る! ~ムラの命をマチの暮らしに、マチの力をムラの生業に~」
一般社団法人九州のムラ 代表理事 養父 信夫 氏

「国土形成計画について」 国土交通省 九州地方整備局 九州圏広域地方計画推進室 総括副室長 猪狩 名人 氏

「これからの地域づくりに必要なコト」 九州工業大学大学院 工学研究院 教授 吉武 哲信 氏

2)事例発表「地域の魅力を活かし、地域に根ざした若者の取組」

「好きな街で仕事をつくる」 株式会社日添 取締役 土屋 望生 氏

「サステナビリティ社会における森と企業の新たな関係性について」 田島山業株式会社 取締役 田島 大輔 氏

「暮らしたくなるシマをつくる」 東シナ海の小さな島ブランド株式会社 代表取締役 山下 賢太 氏

3)パネルディスカッション「次世代に向けた幸福度の高い地域づくりを行うために」

- ・コーディネーター 株式会社YOU! CEO 原口 唯 氏
- ・コメントーター 九州工業大学大学院 工学研究院 教授 吉武 哲信 氏
一般社団法人九州のムラ 代表理事 養父 信夫 氏
- ・パネリスト 株式会社日添 取締役 土屋 望生 氏
田島山業株式会社 取締役 田島 大輔 氏
東シナ海の小さな島ブランド株式会社 代表取締役 山下 賢太 氏



パネルディスカッションに参加された皆さん



養父 氏



猪狩 氏



吉武 氏



土屋 氏



田島 氏



山下 氏



原口 氏

令和6年度 九州の河川維持管理技術に関する講習会(南部)

■日時: 令和7年1月23日(木) 13:00~17:05

■会場: サンプラザ天文館 7階ホール 受講者39名

■目的:

近年、災害の激甚化や河川施設の老朽化が懸念されており、着実な河川維持管理の必要性や河川が本来有する生物の生息環境等の保全・創出、更には治水・利水機能と環境を両立させる河川管理が重要となっています。

このため、河川管理に関わる技術者の技術力向上を目的として開催しました。

■講演内容:

①「河川における自然環境の捉え方と評価の考え方」

公益財団法人リバーフロント研究所 自然環境グループ 主任研究員

②「建設業界におけるDX(働き方の改革)」 国土研究開発法人 土木研究所 技術推進本部 主任研究員

③「九州における河川の維持管理について」 国土交通省 九州地方整備局 河川部 河川管理課長



白尾 氏



房前 氏



高島 氏



質疑応答



会場の様子

白尾 豪宏 氏

房前 和朋 氏

高島 恒善 氏

第3回 公益目的支援事業活動交流発表会

■目的

九州7県の河川・道路等の社会資本整備に関する交流活動、地域活性化・環境保全に努める地域づくり活動団体の活動の励みやモチベーションの向上に役立つことを目的に開催しています。

■会場: リファレンス駅東ビル H-2会議室 参加者83名(会場参加43名、Web参加40名)

■日時: 令和6年9月11日(水) 13:30～

■主催者挨拶



九州地域づくり協会
理事長 田中 慎一郎

■来賓挨拶



九州地方整備局
企画部長 青野 正志 氏



発表会の様子

■事例発表

- ・特定非営利活動法人 遠賀川流域住民の会(福岡県)
- ・小島校区まちづくり委員会(熊本県)
- ・別府市上人ヶ浜町自治会(大分県)
- ・特定非営利活動法人 How to 21 Club(鹿児島県)
- ・黒崎干陸地を守る会(長崎県)
- ・特定非営利活動法人 コノハナロード延岡市民応援隊(宮崎県)



特定非営利活動法人
遠賀川流域住民の会
松岡 氏



小島校区
まちづくり委員会
園田 氏



別府市上人ヶ浜町自治会
阿部 氏
(Web参加)



特定非営利活動法人
How to 21 Club
吉井 氏



黒崎干陸地を守る会
増山 氏



特定非営利活動法人
コノハナロード 延岡市民応援隊
野々下 氏

■意見交換

支援団体の代表の方による事例発表のあとには、公益目的支援事業審議委員会 玉川委員長コーディネートのもと、「縦横のつながり」をテーマとした意見交換が行われ、参加者の皆さんや委員の方々から、「皆さんの温かい姿勢が伝わった」「地道に努力すれば、進むべき道も見えてくる」などの感想をいただきました。



玉川委員長



荒牧委員



高山委員



意見交換会





九州風景街道活動交流発表会

■日時: 令和7年2月17日(月) 13:30~17:00

■会場: TKPガーデンシティ博多新幹線口 プレミアムホール(5階) (会場参加74名、Web参加5団体)

■目的

風景街道の活動は、郷土愛を育み、日本列島の魅力・美しさを発見、創出するとともに多様な主体による協働のもと、景観、自然、歴史、文化等の地域資源を活かした国民的な原風景を創生する運動を促し、地域活性化、観光振興に寄与することを目的としています。

しかし、昨今の少子高齢化に伴い、地方の担い手確保が困難な状況にあります。このため、協会主催による九州風景街道の今後の持続可能な交流・連携に向けた交流発表会を開催しました。

■基調講演

九州風景街道推進会議会長であり九州旅客鉄道株式会社特別顧問の石原氏からは、「風景街道に期待すること」として、JR九州の行う「JRウォーキング」が地域資源である歴史、文化、景観、イベントを元に地域の人々と連携し企画されていること、また、ローカル線の活性化施策が、高速道路開通後の旧道(バイウェイ)と共通項目が多いことなど風景街道活動の方向性を提示されました。



九州風景街道推進会議
会長 石原 氏

■ポスターセッション

会場には九州風景街道15ルートのポスターと、それぞれの特徴を活かし飾り付けられたブースを設置し、30分間の休憩に合わせ、各ブースでの積極的な情報交換が行われました。

テーマ別意見交換会の開催状況や新ルート候補の情報提供もあり、Web配信による実況中継も行いました。



各ブース前での情報交換や情報共有の様子

■パネルディスカッション

九州工業大学工学院吉武教授をコーディネーターとして、「風景街道活動の協働・連携」をテーマに以下のパネラーより事例報告がありました。

●JR大分駅駅長 恋塚氏

JR九州ウォーキングで道守大分(三つの輪)と連携し、国道10号別大国道の歴史紹介による地域情報発信について発表がありました。 ※三つの輪(道の駅・日本風景街道・道守)

●日豊海岸シーニックバイウェイ研究会事務局長 古田氏

東九州伊勢えび街道での県を越えた連携による地場産業の活性化やツール・ド・日豊2024開催によるサイクルツーリズムの可能性について発表がありました。

●薩摩よりみち風景街道協議会副会長 田島氏

地域資源を活かした取り組みとして「夕日で繋がる3県連携」の事例や北海道シーニックバイウェイと姉妹ルート盟約による行政範囲を超えた連携について発表がありました。

■全体総括

最後は九州風景街道推進会議基本問題小委員会委員長玉川氏より全体総括が行われ、盛況の内に閉会しました。



九州工業大学
吉武 教授



JR大分駅駅長
恋塚 氏



日豊海岸シーニック
バイウェイ研究会
古田 氏



薩摩よりみち
風景街道協議会
田島 氏



釧路湿原・阿寒・摩周
シーニックバイウェイ
桐木 氏(Web参加)



九州風景街道推進会議
基本問題小委員会委員長
玉川 氏

九州建設資料館運営事業

当協会では、平成17年4月より、当協会福岡支所の九州建設資料館において、収集及び寄贈を受けた図書等の一般公開を行ってきました。

令和2年11月、更なる利活用向上を図るため、九州建設資料館より当協会本部へ閲覧対象の図書約2,800冊の移動を行い、「KMA※1プラザ」を設置しました。

※1) KMAは九州地域づくり協会の英文表記 Kyushu Management Associationの略です。

KMAプラザでは、主に河川、道路、トンネル、橋梁、建設、土木、環境等の分野の技術図書その他、災害記録や各種工事報告書なども閲覧することができます。

令和6年度においては、約200冊の寄贈図書等の追加登録を行ない、更なる蔵書充実に努めています。

なお、対象図書については、協会ホームページの「図書検索システム」からご確認できます。

開館時間	9:00～16:00 (会議室内に併設のため、事前にお電話でご確認及びお申込み下さい。)
休館日	土日祝日および年末年始 ※ 臨時休館等の変更あり
問合せ先	092-476-5680(企画部企画課)
所在地	福岡県福岡市博多区博多駅東 2丁目10-35 博多プライムイースト4F ※移転しました



KMAプラザ



交通のご案内 ●JR博多駅より徒歩5分



協会本部(1階が博多駅東郵便局です)

土木技術に関する図書や資料の寄贈をお願いします

ご寄贈くださる場合には、あらかじめ上記問合せ先にお電話ください。

<https://www.qscpuu.or.jp/kma/> [KMAプラザについて]





建設事業の推進及び普及のための 調査研究事業

調査研究事業

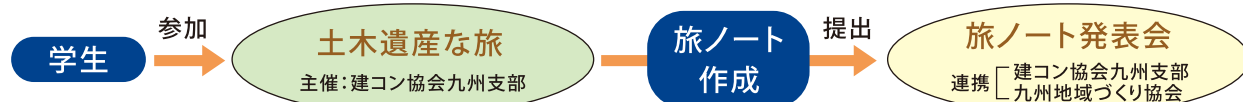
①九州土木遺産調査研究

■土木遺産な旅ノート発表会

令和5年発行の「土木遺産な旅のススメ」では、土木遺産を巡り地域の歴史をたどることで、地域の価値を知り、未来へ継承する学びを紡いでいくことを推奨しています。

当協会は(一社)建設コンサルタンツ協会と連携し、九州内の大学生を対象として、九州に

残る土木遺産を訪問し、先人の豊かな知恵と土木構造物の奥深さを体感していただくことを目的として、「土木遺産な旅のススメ」をテキストに講義を行い、フィールドワークとして「土木遺産な旅」バスツアーを実施し、参加者の「旅ノート」作成による発表会を開催しています。



旅ノート発表会スケジュール

- ①学生から寄せられた旅ノートの書類審査(1次審査)
- ②1次審査通過者決定(3名)
- ③2次審査(プレゼンテーション)
- ④表彰

作成テーマ：①先人の知恵に学べたこと
②被災復興から学べたこと

開催日：令和6年5月11日(土)

対象者：九州大学工学部土木工学科(3年生)など21名

訪問先：通潤橋／円形分水路(熊本県上益城郡)、阿蘇大橋(新・旧)／阿蘇立野ダム(熊本県阿蘇郡)



令和6年度受賞者の旅ノート



土木遺産な旅ノート(土木遺産in九州)



通潤橋



立野ダム



令和6年度受賞者の皆さん

■「土木遺産 in 九州」サイトリニューアル

多様な方々に、スマートフォンやタブレットでも見やすい表示とし、写真を多数掲載したデザインで、ストーリー性のある充実した内容となりました。

さらに、新しいカテゴリーとして「土木遺産な旅ノート」を紹介するコーナーを追加しました。また、橋や堤など構造分類ごとの検索機能の追加や、Googleマップ上でも土木遺産を検索して周辺施設や駅等からの経路も分かりやすいように改善しました。



土木遺産 in 九州

②九州地域の社会資本整備の歴史

令和6年10月24日～25日に開催された九州各地の道守さんが集う「みちづくしin鹿屋2024」にて、鹿屋の魅力や土木遺産、道守活動を伝える目的で「旅ノート」を作成し、2日目の現地体験学習にて2コースの旅を実践してもらいました。

■Aコース：大隅の歴史と未来を感じるツーリズム

吾平山上陵

惑星ロード
(国道448号)

JAXA
内之浦宇宙空間
観測所

どっ菜市场



JAXA内之浦宇宙空間観測所



吾平山上陵にてガイドさんの説明を受ける皆さん



■Bコース：鹿屋の風光明媚と平和への想いツーリズム

荒平天神

かのやばら園

鹿屋航空基地
史料館

どっ菜市场



荒平天神



かのやばら園での記念植樹



参加者のみなさんからは、「旅のコースが分かりやすい」「コンパクトで使いやすい」などと好評をいただきました。

この冊子は、鹿屋地区の道の駅、鹿屋市観光物産総合センター、桜島フェリー乗り場、東京にある鹿児島島のアンテナショップなどのご協力により、県内外30カ所以上で配布されています。

③防災に関する調査研究

九州地方では、過去より大規模かつ多様な災害により教訓を得て様々なことを学んできました。

一方で、災害の教訓は伝えにくく、また過去の災害に関する資料が継承されず、十分に活用されていない状況も見受けられます。

このため、九州地方において過去に発生した地震、津波、火山災害及び風水害に関する調査結果を平成24年より収録し、当協会ホームページの「九州災害履歴情報データベース」として継続的な公開を行っています。



○地域防災力強化に向けた取り組み方針案の検討

当協会では、これまで九州災害履歴情報データベースを構築して公開するとともに、災害伝承にまつわる逸話や文化を簡潔にとりまとめた伝承冊子の作成を行い、地域における防災意識の啓発・向上に向けた情報発信を行ってきました。

今回、地域防災力強化の観点から、地域防災活動に取り組む団体、自治体担当者、学識経験者に、地域防災力強化に向けた取り組みの現状や課題、今後の展望等についてヒアリングを行い、以下の課題が浮き彫りとなりました。

ヒアリング先	
自治体	福岡市役所 市民局 防災・危機管理部 地域防災課
防災活動団体	博多あん・あんリーダー会
中間支援団体(※1)	災害支援ふくおか広域 ネットワーク
学識経験者	九州大学名誉教授 熊本大学客員教授

ヒアリングでの課題

- ・防災意識の低下や地域コミュニケーションの希薄化により、「自助」、「共助」の機能が低下し、防災意識の醸成が課題となっています。
- ・行政担当者及び町内会長の入替等により、行政と地域住民間の関係性(連携)の構築・維持が困難になっており、その連携強化が課題となっています。

- ・発災直後は、情報集約に時間を要し、地域への支援において「もれ」と「むら」の課題が発生しているため、中間支援団体(※1)が全国的に発足しており、関係団体間の連携強化や情報共有に取り組んでいる状況となっています。

(※1)中間支援団体:全国規模のJVOAD(災害ボランティア支援団体ネットワーク)、福岡県のFネット(災害支援ふくおか広域ネットワーク)があり、自治体や社会福祉協議会と連携して、防災意識の向上や発災時における情報共有や幅広い被災者支援の調整等に取り組んでいます。

【今後の取り組みの方向性】

- ・中間支援団体は協会の将来的な支援先として考えられるが、現時点では、社会的立ち位置等が十分に確立されていないため、今後の九州各県における中間支援団体の組織形成状況や活動実績等を勘案しながら、今後の支援のあり方を検討する必要があります。
- ・今回のヒアリング過程において、各主体間の連携不足などのソフト面の課題が露見され、様々な分野が横断的に関係していることから、従来のインフラ整備のような工学的(土木的)だけでなく、以下の幅広い視点も必要と考えられます。

- ①コミュニティ防災の視点:住民による主体的な防災活動の促進に役立つか
- ②社会心理学・行動科学の視点:防災意識の向上や正常性バイアスを抑える手段として有効か
- ③回復力・復元力の視点:災害発生時に迅速に回復できる能力向上に役立つか
- ④リスクマネジメントの視点:ハザード・リスク・脆弱性の分析を通じた被害軽減策の検討に役立つか

当協会がこれまで直接的に支援していない領域

中間領域

- ・当協会は、各市町村とは異なり、九州全域を網羅的に支援できることが長所となるため、九州全域の自助力、共助力を向上させる取り組みづくりが重要となります。

【今後の具体的な取り組み案】

- ・被災自治体の諸課題とその対応を事例としてまとめ、講習会の開催や事例集の作成を通じて、九州各県の市町村へ周知したいと考えています。
- ・低年齢児の防災教育を目的として、九州の災害伝承冊子を小学校低学年向けに再編して副読本としての活用を検討したいと考えています。

その際、「語り部」のご協力についても検討したいと考えています。



九州災害履歴情報データベース

九州の災害伝承冊子もこちらからご覧いただけます。



①大学等への研究助成事業

国際化、情報化等の進展に伴い、国民のニーズの多様化、地球規模で変化する気候変動の中、持続可能な未来を築く開発目標(SDGs)に適合した国土管理及び円滑な社会資本整備の進め方などに寄与するため、土木技術全般に関わるハード及びソフト両面についての調査研究が求められています。

このため、若手研究者の育成も兼ねて、九州地区の大学・工業高等専門学校に対して募集し、それに要する費用を助成しています。

なお、特定テーマとは①地域の活性化・再生、②インフラの老朽化対策及び生産性向上方策、③九州地域等における防災・減災対策であり、それ以外を一般としています。



令和6年度(第2回)研究等助成審議委員会

令和6年度 調査研究助成の実施一覧

番号	大学名	研究課題名	研究テーマ	実施期間
1	九州大学大学院 工学研究院 附属アジア防災研究センター 沿岸海洋工学研究室	九州北岸において高波高潮の危険性が未認知である台風の特定と発達機構の解明	特定 ③	令和6年 4月1日 ～ 令和7年 3月31日
2	九州大学大学院 工学研究院 社会基盤部門	被災後橋梁の早期機能回復に寄与する高強度・高靱性RC橋脚の最適構造に関する一提案	特定 ③	
3	福岡大学 工学部 社会デザイン工学科	防災と景観の両立を目指した津久見川激特事業の効果一景観検討実施区間と未実施区間の周辺住民に対する意識調査とその比較分析から一	特定 ①	
4	福岡大学 工学部 社会デザイン工学科	気候変動シナリオに基づく将来気候値を用いた九州地域の豪雨時斜面道路被害の算定と適応策	特定 ③	
5	佐賀大学 理工学部 理工学科	グリーンインフラ整備にむけた緑景観の評価指標構築に資する注視情報と印象評価の関係に関する基礎的研究	一般	
6	熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 減災型社会システム部門	支承部溶接継ぎ手部の強度評価に関する研究	一般	
7	大分工業高等専門学校 都市・環境工学科	三軸応力下でASR劣化するコンクリートの損傷メカニズムの解明	特定 ②	
8	宮崎大学 工学部 機械知能工学プログラム	検査用打音ユニットを搭載した管内移動ロボットの開発と内部欠陥の点検用務に挑戦	特定 ②	
9	宮崎大学 工学部 土木環境工学プログラム	橋梁下部空間への発泡プラスチック材充填による耐震補強技術の開発	特定 ②	

令和5年度 研究等助成事業成果報告会[令和6年8月23日(金)]

平成15年度より研究助成事業を開始し、今回11回目の開催となった研究助成の成果発表会は、12名の方に成果報告していただきました。



講評／角 知恵 氏
(研究等助成審議委員長)



報告会の様子



②人材育成に関する助成事業

国際化、情報化等の進展に伴い、国民のニーズの多様化、地球規模で変化する気候変動の中、持続可能な未来を築く開発目標(SDGs)に適合した国土管理、円滑な社会資本の整備及び利活用を進めることが重要となっています。

このため、河川、道路、環境、防災、構造物維持管理、景観デザイン等をテーマとして、九州地区の大学、工業高等専門学校、団体等を対象とした実践的な人材育成や教育の取り組みを募集しており、以下に助成を行いました。

令和6年度 人材育成決定者一覧表

番号	大学名	研究課題名	実施期間
1	九州大学大学院 工学研究院 社会基盤部門	道路土工構造物のライフサイクルマネジメントに関する実践的教育	令和6年4月8日～ 令和6年12月27日
2	福岡大学 工学部 社会デザイン工学科 景観まちづくり研究室	九州デザインシャレット2024 in 大分県津久見市	令和6年4月1日～ 令和6年12月31日
3	(一社)建設コンサルタンツ協会 九州支部	土木専門家と巡る土木遺産な旅	令和6年5月1日～ 令和6年5月31日
継続	長崎大学大学院 工学研究科 インフラ総合研究センター	新規建設業入職者を対象とした道守補助員コースの開催	令和6年5月1日～ 令和7年3月31日
継続	熊本大学大学院 先端科学研究部	熊本の水文化を世界に伝えるプロジェクト	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日

令和6年度 人材育成助成の実施状況

九州大学大学院 工学研究院 社会基盤部門 道路土工構造物のライフサイクルマネジメントに関する実践的教育

道路インフラを効率的に建設・管理していく土木技術者を育成するために、九州大学等の大学院生を対象に、「土工」をテーマとして、のり面構造物点検実習や点検結果に基づく対策方法立案演習などを行いました。

また、高速道路の魅力や価値を高める具体的施策について、学生が約4ヶ月の調査・検討を行い発表会を実施しました。

最優秀賞には「Navi NEXCO」と題して、さまざまな地域連携強化のアプリによる旅行計画支援と自動運転との融合が選ばれました。



のり面点検実習の状況



新設スマートインターの形状検討結果発表の状況

福岡大学 工学部 社会デザイン工学科 景観まちづくり研究室 九州デザインシャレット2024 in 大分県津久見市

駅を中心としたまちの再生を目指す大分県津久見駅前広場を対象に、「多世代の居場所となる駅前広場のデザイン」というテーマで、設計演習を行いました。

全国から集まった将来まちづくりや建設分野に携わる様々な専門分野の学生・若手技術者30名は、5班に分かれて現地調査やグループワーク等を行い、最終日に市長や地元住民の前で、最終デザイン提案を発表しました。



発表の様子



集合写真

長崎大学大学院 工学研究科 インフラ総合研究センター 新規建設業入職者を対象とした道守補助員コースの開催

11月15日、建設業就職3年以内の若手技術者を対象として、道路維持管理の入門となる道守補助員コースを開催し、産官の17人が受講しました。

座学では、長崎県及び長崎大学の専門家が県の道路の現状、橋梁・トンネル・舗装等の劣化による変状説明、経験豊富な道守認定者によるコンクリート橋や道路舗装の現場点検実習の後、大学で認定試験が実施されました。



座学の様子



道路路面の点検実習

熊本大学大学院 先端科学研究部 熊本の水文化を世界に伝えるプロジェクト

ユース水フォーラムくまもとは、SDGsの精神に則り、熊本の水文化を世界に発信する高校生をサポートするため、2021年3月に結成されました。

本年度、熊本の水文化を世界に発信する「熊本の水文化ゼミ」は四期目を迎え、6校31名の高校生がプログラムを修了し、10本の動画を作成しました。

「ユース水守」として、本年度は熊本市上下水道局100周年事業やユース水フォーラムアジア(韓国)でも動画を披露しました。



(一社)建設コンサルタンツ協会 九州支部 土木専門家と巡る土木遺産な旅

令和6年5月11日、九州大学の土木系学生は、現地で専門家から説明を受け、当時の技術力に触れ、先人の地域愛や知恵、土木事業の意義に思いを深めました。

土木構造物として初めて国宝認定の通潤橋では、用水取水の円形分水の知恵、新旧の阿蘇大橋では耐震技術と工夫、立野ダムでは環境や景観への配慮などを学び、貴重な体験をし、成果報告となる旅ノートを作成しました。



3

地域活性化等 支援事業

●地域活性化等支援事業の一部を紹介

河川・道路愛護活動を通じた地域活性化活動支援事業

河川や道路を舞台とした愛護・啓発等の活動とともに地域イベント等を開催し、地域活性化を図る

NPO等の団体活動を支援しています。
令和6年度は、6団体を支援しました。

国道208号道路愛護・地域活性化活動 道守おおむたネットワーク

事業の内容

- 大牟田駅前ロータリー内花壇整備
- 国道208号花壇整備
- 有明沿岸道路大牟田IC高架下花壇整備
- みちづくし in 鹿屋 2024

事業の効果

- 国道208号沿線企業に加え、小中学生や高校生、大学生などが参加する一大プロジェクトとして定着。また、ボランティア参加による青少年の健全な育成にも貢献しています。



本明川河川敷への花の植栽による地域活性化事業 特定非営利活動法人 拓生会

事業の内容

- 本明川河川敷における植栽事業
- ソメイヨシノ植栽 ●ヒラドツツジ植栽

事業の効果

- 当該地はコスモスの植栽面積が4.8ha、約300万本と県内有数の花の景勝地で年間約8万人が訪れています。
- 桜の植栽により入場者の増加につながり、地元への経済波及効果が期待されます。



**Zoom
UP**



本明川をきれいにしゅう会
中島 康範 代表

小学6年の児童と、18年前からボランティア活動を継続

長崎県諫早市を流れる本明川の河川敷の除草と清掃、コスモスの植栽に取り組んでいます。参加人数は小野小学校6年生の児童を中心に約80名に及び、例年、コスモスの種まきから観察会、種取りなどのボランティア活動に取り組み、児童の健全な育成にも貢献しています。

活動の始まりは25年前、諫早湾干拓に伴って乾陸地が生じ、害虫や雑草が増えたのを、父と仲間たちが清掃に乗り出したのがきっかけでした。18年前から私が引き継ぎ、学級理事だった縁で、小学校との共同作業が始まったのです。

昨年より地域のライオンズクラブから協力の申し出があり、一緒に除草作業を始めるなど、地域に根付いた活動となっています。





●地域活性化等支援事業の一部を紹介

環境(体験)学習による人材育成活動等支援事業

水辺を遊びの場、自然体験の場、自然環境調査の場とするイベントを開き、川遊び、自然観察、環境(生物、水質)調査等の学習を通じて河川環境保全の重要性を啓発する活動を支援しています。

また、河川をフィールドとして活動する人材を育成し

ているNPO等やボランティア団体と地域住民が連携する活動についても支援しています。

令和6年度は、川を体験する諸活動や環境保全活動等の8団体を支援しました。

リバーチャレンジスクール

直方川づくり交流会

事業の内容

- 遠賀川から花のプレゼント ●サマースクール
- 輪飾りづくり ●バードウォッチング ●凧揚げ 等

事業の効果

- リバーチャレンジスクールに参加した子どもたちが、それぞれ興味のある分野の学習を続け、ワークショップや遠賀川流域リーダーサミット、さらにはインドネシア・バリ島で開催された第10回世界水フォーラムでの発表など活躍の幅を広げています。
- 今年度実施したイベントの様子がNHKニュースで放送され、より多くの方々に活動を知ってもらえることができています。



ふるさとの水辺を生かす体験学習と人材育成

自然と暮らしを考える研究会

事業の内容

- 体験型の学習支援と出前講座
- 夏休み川の安全・体験教室
- 防災出前教室 ●水辺の環境整備
- 人材育成(交流・会議WS など)

事業の効果

- 子どもたちの遊びの場だけでなく、体験学習や幼少中高生の総合学習の場として学習支援しました。また、水環境の機能を地域に住む人たちに再発見してもらいました。



環境(体験)学習による人材育成活動等支援事業

特定非営利活動法人 天明水の会

事業の内容

- 緑川ダム見学学習会 ●「森づくり」の体験学習
- 竹炭焼き体験学習

事業の効果

- 緑川最下流域の中学生が上流の緑川ダムを見学学習できたことは、流域治水についての学びが大きかったようです。
- 放置竹林問題解決の一つが竹炭焼き作業で解決することを理解し、また竹炭の特性を学び様々な活用が可能なることを学習することができました。



山崎川生き物マップ (やまさきがわいきものマップ)

山崎川をきれいにする会

事業の内容

- 生き物マップ看板製作・設置
- マグネットサイン製作

事業の効果

- 総合的学習において子どもたちは、生き物マップを手にし、山崎川の水性生物、季節ごとの昆虫、初夏のホタル、植物、鳥類など観察でき、自然の素晴らしさや川の楽しさを実感しています。
- 生き物マップは通学路や多くの市民が散歩する場所に掲示し、自然環境保全の啓発に役立っています。



川を体験する諸活動

こうやま 川の少年団

事業の内容

- 川釣り、海釣り体験
- 生物調査・いかだ遊び
- バス研修(鹿児島市)
- 町内歴史散策 等

事業の効果

- 異年齢集団で活動することにより、お互いに思いやり助け合うことが大切だと気付かされています。
- 様々な学びの場を親子で共有しながら、地域の人々同士の交流も深めています。



Zoom UP



特定非営利活動法人
アザメの会
山口 芳美 理事長

豊かな自然環境を次世代に継承し、「手づくり郷土賞」受賞

国土交通省は、自然再生事業として佐賀県唐津市相知町の松浦川流域に、2001年度より氾濫原の機能を持たせた湿地・アザメの瀬の再生を進めました。

私たちアザメの会は、2002年に発足し、相知小学校の児童と体験学習などに取り組み、3年後に特定非営利活動法人化しました。

洪水のときに川の水があふれるアザメの瀬には、多くの生き物が生息し、トンボ池やクリーク、棚田があります。

私たちは田植えや稲刈り、魚獲りや夏休み自然環境教室などを通じて、豊かな自然を次世代に継承する活動を展開しています。

こうした取り組みが評価され、24年末には国土交通省の「手づくり郷土賞」に表彰されました。





● 地域活性化等支援事業の一部を紹介

河川・道路等の愛護活動支援事業

河川や道路等を慈しみ、住民参加型の維持管理（清掃・美化）を積極的に行い、道路利用者等へのマナー向上や道路愛護思想の啓発普及に努めている沿道住民、NPO、企業等団体のボランティア

活動（歩道清掃、花壇の維持管理）を支援することにより、地域コミュニティの活性化に寄与しています。

令和6年度は85団体を支援しました。

大牟田市民憲章推進委員会 国道208号街路美化事業

大牟田市民憲章推進委員会

事業の内容

- 歩道及び花壇の清掃活動
- 歩道及び花壇の植栽活動
- 報道発表及び実績報告

事業の効果

- 本事業を通して市民の国道208号沿線の美化意識向上や大牟田市民憲章の普及啓発及びSDGsの推進に寄与しました。



道路清掃及び美化活動を目的とした 地域女性活動の活性化事業

江北町女性ネットワークの会

事業の内容

- 道路を中心とした環境の美化活動及び清掃活動を実施
- 佐賀国スポに向けて会場に通じる国道沿いにプランターを設置

事業の効果

- 国道歩道際の花壇の整備、清掃活動を通じて道路を公共物として再認識することができました。
- 2024佐賀国スポに向けて国道沿いの花壇を広げ、それにより来町者の心を和ませることができました。



ボランティア活動 (国道緑化、清掃活動)

天満スマイルクラブ

事業の内容

- 歩道の植栽帯と21基のプランターへの花苗管理（花植え、除草、灌水）及び、歩道の清掃活動

事業の効果

- 年々気候が厳しくなる中での活動ですが、花が咲いていると心が暖くなり、毎年続けていこうという気になります。



●地域活性化等支援事業の一部を紹介

ボランティア・サポート・プログラム

八嘉校区まちづくり委員会

事業の内容

- 花壇の花の管理、除草及び周辺の清掃活動

事業の効果

- 当事業を実施することにより、国道がきれいになり、ごみの量も少なくなることで、地域との融和を図る等の効果が出ています。
- 玉名バイパスが開通し花壇が多くなり、ドライバーの人たちから心が和む道路だと意見が寄せられています。



豊かな大分を目指そう大作戦

(一般国道10号や大分川でのボランティア活動等を統合した名称としたもの)

豊友会

事業の内容

- 河川や道路の清掃活動及び管理施設のチェック等
- 令和5年度総会・講演会開催

事業の効果

- 道路や河川の大切さを地域へ伝えるため、感謝を込めて清掃活動等を実施しています。
- 昨年より大分地区では活動の輪が広がり、街や道路、施設等への美化・保全意識がますます高まってきています。



ボランティア・サポート・プログラム

内海地区自治会・公民館

事業の内容

- 道路愛護・美化啓発
- 内海地区の植栽柵の管理及び美化清掃作業

事業の効果

- 1年を通じた活動で、地域の人々とコミュニケーションをとることができています。





●地域活性化等支援事業の一部を紹介

ボランティア・サポート・プログラム事業

宮崎日南生活ロード女性の会

事業の内容

- 歩道の清掃及び花苗の植樹、手入れ等による美化緑化活動
- 女性の会総会及び講演会

事業の効果

- 官公庁や企業に参加を呼びかけ、アラマンダの植栽、チューリップ球根の植え込み等一緒に活動を行い、国道220号の景観美化の向上に貢献しています。
- 勉強会、交流会、意見交換会などの広報活動を行い、会員の意識向上につながっています。



ボランティア・サポート・プログラム活動

特定非営利法人 How to 21 Club

事業の内容

- 国道3号に設置された花壇及び周辺の歩道清掃

事業の効果

- 国道の清掃活動を通じて地域に貢献し、また、地域の人々の自主的な参加を促して美化意識の向上に寄与しています。



Zoom UP

「黄金の海岸」への思い受け継ぐ、コバノセンナの道

国道220号沿い、宮崎市と日南市の境界近くにある、いるか岬の周辺で秋に鮮やかな黄色の花を咲かせるコバノセンナの補植を行っており、宮崎交通の故・岩切章太郎さんが「日南海岸を黄金の海岸にしたい」と、この花が植えられました。

私たちは、その思いを受け継ぎ、地域の造園会社や国土交通省の宮崎河川国道事務所の協力を得て、毎年、継続して補植や手入れを行っています。

日南海岸国定公園は、地域のかげがえのない財産であり、これを大切に継承していきたいという願いから、堀切峠のバイパス建設によって失われた風景を取り戻すために、市民が植栽したサクラ植栽地の下草刈りや剪定などにも取り組んでいます。



日南海岸コバノセンナを育てる会

谷越 衣久子 代表代理



本明川河川敷への花の植栽による地域活性化事業

黒崎干陸地を守る会

事業の内容

- コスモス等の植栽活動
- 河川敷の除草や清掃活動

事業の効果

- 秋にはコスモスを観るために多くの方が訪れており、諫早市の貴重な観光資源として地域振興に寄与しています。
- 河川敷の除草や清掃を行うことにより、雑草の繁茂を防止することができ、適正な環境維持に貢献しています。



花いっぱい活動及び清掃活動

津留地区ふるさとづくり運動推進協議会

事業の内容

- 大分川河川敷や地区内公園に花を植栽
- 河川敷の清掃活動及び裏川の浄化活動

事業の効果

- 花の植栽を行い「花いっぱい きれいなまちづくり」を進めることで、地域の人々の心を和ませ、環境美化意識の向上に貢献しています。
- 河川清掃・浄化活動についても、3世代での活動を通して、住民同士の交流を図り絆を深め、子どもの情操教育や、健全育成にも大きな役割を果たしています。



花緑柳河原川クリーン作戦

花緑自治公民館

事業の内容

- 年2回の柳河原川クリーン作戦(堤防の草刈り・花壇の花植え)
- 年5回の草刈り作業

事業の効果

- クリーン作戦では、子どもから高齢者まで一緒に汗をかき、綺麗になった柳河原川を見て喜びを分かち合うなど河川愛護の啓発になっています。
- 草刈り作業後の綺麗な状態になった堤防を地域住民の人たちが喜んでくれるので、草刈り隊員のやりがいとなっています。





●地域活性化等支援事業の一部を紹介

地域資源の活用による地域活性化活動支援事業

身近な公共空間である「道」を舞台に、地域資源（景観、自然、歴史、文化、考古、食・産物、祭り等）を最大限活用し、住む人・訪れる人にとって魅力的な九州を実現することを目的に、「九州風景街道」の

取り組みを管内16ルートで展開しています。

これらの活動を進める多様な主体（地域住民、NPO、町内会・自治会等）の諸活動を支援しています。
令和6年度は11団体の活動を支援しました。

令和6年度 街道遺産発見ウォーク事業 「歩く唐津街道の旅」

歩く唐津街道の旅

事業の内容

- 旧唐津街道復路ウォーク ●旧長崎街道ウォーク
- 旧長崎街道日見峠ウォーク ●唐津～門司間の標識設置
- 虹の松原での松葉かき体験

事業の効果

- これまでに訪れた旧街道は唐津街道をメインに山陽道、中津街道、長崎街道など広域的な活動へと展開しており、街道遺産の状況把握、関係者との交流、参加者の健康・歴史学習等多くの効果をもたらしています。
- 標識設置活動を通じた行政や地元との継続的な協働や、マイスター制度の導入による後継者育成など活動の質的向上も期待されています。



やまなみハイウェイ美化活動・シンポジウム実行委員会

阿蘇くまもと路風景街道

事業の内容

- 講演会・シンポジウム開催
- やまなみハイウェイ斉清掃活動

事業の効果

- やまなみハイウェイの歴史、文化、風景を維持していくことの意義を多くの人に伝えることができました。さらに、地域企業にも協力をいただき、企業が行う地域貢献活動として認知されています。



自転車旅のおすすめ事業

日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会

事業の内容

- 地域の交流拠点である「道の駅谷谷」にレンタサイクル設置を想定し、半日で地域を回遊するコースを設定しました。
- 道の駅関係者、各行政の関係機関職員、民間活動団体会員等で、この施策を推進するための試走を行いました。

事業の効果

- いろんな提案の可能性を探ることができました。
 - ・「道の駅」を拠点としたパーク＆ライドで地域の魅力を堪能できます。
 - ・桜の植栽に力を入れた魅力づくりを行ってきた谷谷地区をサイクリングで楽しむことができます。
 - ・日本の棚田百選に選定された坂本棚田内は、自転車での周遊に向いています。



かごしま風景街道周知啓蒙活動

かごしま風景街道推進協議会

事業の内容

- 南薩方面へのバスツアー
- 市電乗り降り沿線散策
- 鹿児島市西北部バスツアー

事業の効果

- バスや市電を利用して移動したが、途中“まちあるき”を行うことによって地域資源の魅力に触れ「風景街道」の知名度向上にも貢献しました。



薩摩よりみち風景街道フォトコンテスト

薩摩よりみち風景街道協議会

事業の内容

- フォトコンテストのチラシ作成及び周知活動
- フォトコンテスト受賞作品の発表
- 九州風景街道テーマ別意見交換会への情報提供及び広報活動

事業の効果

- フォトコンテストのチラシにマップを添付することにより、薩摩よりみち風景街道のエリアを知ってもらい、賞品を地域の特産加工品にすることで商品のPRにもつながりました。
- この事業の実施により、地域のすばらしい景観・歴史・文化・観光資源等を再発掘する機会となり、インスタグラムを活用し情報発信できる場を得ることができました。



Zoom UP

豊前の街道の魅力を発見し、その活用を模索する

風景街道とは、景観、自然、歴史、文化等の地域の資源を活かし、多様な風景の形成を目指す運動であり、私たち「豊の国風景街道推進協議会」は、小倉ー中津ー宇佐を結ぶ豊前の街道に関心を持ち、その魅力を検証し、地域への活用方法を模索する活動を展開しています。

【主な活動】

- ①豊前の街道への理解を深めるための区間を分けて歩く史跡探索ウォーク
- ②他の街道の事例を知るためのバスツアー
- ③街道の歴史を深く知るための歴史講演会
- ④街道周知のガイドブック作成のための調査・検証・編集作業

これらの活動を通じて、街道の新たな魅力を発見することができました。



豊の国風景街道推進協議会
やまのうち こうじ
山内 公二 代表





防災活動等 支援事業

災害復旧技術講習会(協会主催)

概要

近年、全国各地において激甚な自然災害が頻発しており、被災市町村における災害復旧事業については、災害査定などの普段体験しない迅速な対応と膨大な実務が求められています。

こうした状況の中、当協会では、平成29年九州北部豪雨災害により被災した福岡県の朝倉市や東峰村に対して、災害復旧技術専門家と連携を取りな

がら、災害復旧の支援活動を行ってきました。

これらを踏まえ、令和4年度より、災害対応能力の向上に資することを目的として、九州内の市町村職員や災害復旧事業に携わる技術者の方々を対象に、年度内に2回、災害復旧事業を基礎から学ぶ講習会を設けています。

内容

第5回目:令和6年6月17日(月)10:00~17:00 受講者314名

①「災害復旧事業制度について」

②「近年を中心とした改正点について」

災害復旧技術専門家 後藤 信孝 氏

③「わかりやすい災害復旧事業」

国土交通省 水管理・国土保全局 災害査定官 平塚 修二 氏

④「TEC-FORCEの活動について」

国土交通省 九州地方整備局 災害対策マネジメント室 室長 松木 厚廣 氏

⑤「災害査定の最近の動向について」 国土交通省 九州地方整備局 災害対策マネジメント室 課長補佐 矢羽田 成巧 氏

⑥「能登半島地震における九州地方整備局のTEC-FORCEの活動について」

国土交通省 九州地方整備局 道路部 道路構造保全官 岩永 敏孝 氏

⑦「被災市町村への支援事例について」

(一社)九州地域づくり協会 技術部長 久留 省二



後藤 氏



平塚 氏



松木 氏



矢羽田 氏



岩永 氏



久留 技術部長

第6回目:令和7年2月5日(水)13:00~16:30 受講者約120名

①「令和6年最新情報及びよくある事例(失格・欠格事例)等について」

②「応急仮工事・応急本工事について」

③「改良復旧事業について」

災害復旧技術専門家 後藤 信孝 氏

④「災害査定の動向及びDXを用いた新しい災害査定」

国土交通省 九州地方整備局 災害対策マネジメント室 課長補佐 矢羽田 成巧 氏

調整係長 青木 丈治 氏

⑤「被災市町村への支援」 (一社)九州地域づくり協会 企画課長 秀徳 典穂



第6回 Web配信の様子

※当日はこの冬一番の大雪のため、Web配信のみの開催となり、また、九州地方整備局の講習もこの災害対応により中止となりました。

このため、後日、受講者に配慮した新たな取り組みとして、中止となった九州地方整備局の講習を追加収録し、全講習分をYouTubeにおいて期間限定の配信を行いました。

九州防災エキスパート会活動支援事業(令和6年度活動状況)

九州防災エキスパート会は、国土交通省九州地方整備局OBで組織する九州地方整備局業務のアドバイス又はオブザーバーの立場で行動するボランティア団体です。

これまで培ってきた防災の知識や技術を活かし、災害時には現場に出動して復旧工法の助言などを

行うとともに、平常時には各事務所が実施している出水期前の点検、訓練などの防災活動に同行し助言などを行う他、防災担当者や水防団などを対象とした水防工法の指導なども実施しています。

本部及び九州内16支部からなり、令和6年度末の会員数は453名となっています。

1. 7月1日 洪水対応[筑後川]

筑後川本川37K600(片の瀬[出])の堤防法面陥没があり、[事]と現地に出動し対策工の助言等を行いました。

また、隈ノ上川(吉井[出])の柳野橋左岸橋台及び上流護岸等の被災も発生し、現地にて調査・助言等を行いました。



筑後川[事]対応状況



隈ノ上川 柳野橋上流

2. 8月8日発生日向灘沖地震の対応[宮崎]

8月8日16時43分頃、日向灘沖で地震(M7.1 最大震度6弱)が発生し、国道220号日南市宮浦～風田間で落石(30トン)が確認され、宮崎[事]主催の復旧検討会に参加依頼があり、エキスパート会から2名が参加し助言等を行いました。

また、翌日には橋通りの排水溝等の損傷確認を行いました。



復旧検討会[8月8日]



橋通り損傷確認 [8月9日]

3. 8月末発生台風10号の対応[緑川ダム他]

台風10号は、8月29日8時頃、薩摩川内市付近に上陸し、九州西側を北上→雲仙→島原湾を横断→熊本に再上陸し、30日10時頃、大分県国東半島から瀬戸内海に抜け、緑川ダム管理所からの出動要請を受け、28日から2名が出動し2泊3日のダム管理支援を行いました。

また、大隅[事]でも2出張所(高山・鹿屋)で1泊2日の支援を行いました。



緑川ダム管理支援状況



台風10号の進路

4. 平常時の活動

①嘉瀬川総合水防演習

九州各県廻りの総合水防演習が嘉瀬川で実施され、九州防災エキスパート会佐賀(河川)支部より9名が参加し、消防団等へ釜段工・月の輪工等の指導を行いました。



参加したエキスパート会員



また、筑後川で水防工法講習会を、下記事務所でも水防演習を実施しました。(八代、佐伯、山国川、川内川)

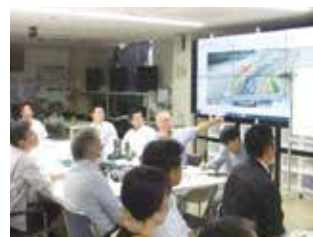
②緊急対策シミュレーション(河川系事務所)

堤防決壊時の緊急対策シミュレーションは、洪水又は地震を対象に、氾濫区域等の情報確認の他、復旧工法、備蓄資材や主要機材、搬入路、地元対応の確認等を実施しました。

☆ R6実施事務所=(筑後川・遠賀川、武雄、熊本、八代、大分、佐伯、山国川、川内川、大隅)



川内川実施状況



大隅(肝属川)実施状況

③道路法面等の防災点検(道路系事務所)

梅雨期前に道路事務所では、国道法面の洗掘箇所、法面不安定や排水不良箇所の確認等の防災点検を行いました。

☆ R6実施事務所=(熊本、大分、佐伯、延岡、鹿児島国道)



熊本維持 実施状況



大分(日田)維持 実施状況



防災ボランティア活動等支援事業

市民団体等が行う地震や河川水害時等のボランティア活動及び防災・減災活動を支援しています。
令和6年度は、災害ボランティア申請に該当する

大きな災害はなく、防災・減災活動を行う以下の2団体を支援しました。

沈黙の語り部たちから災害歴史を学ぶ

災害歴史を学ぶ会 ●参加者:実69名、延べ115名

佐賀県内の災害歴史遺産を調査し、まとめた冊子「沈黙の語り部たち」を公益目的支援事業費を活用し印刷、配布は佐賀県内防災機関、自治体を中心に実施しました。

当冊子普及のため開催したバスツアーの一般参加者にも好評で、災害リスクの学びにも繋がっています。

また、佐賀県内の国土交通省若手職員への研修にも講師として参加、武雄河川事務所の出前講座でも活用されました。



沈黙の語り部たち
(KMAプラザにて閲覧できます)



バスツアー予行演習の様子
参加者に本山会長より説明
武雄河川事務所の協力を得て実施



バスツアー予行演習の様子
会員もパネル展を念頭に準備



バスツアー本番の様子
参加者に本山会長より説明



バスツアー本番の様子
参加者による記念撮影



佐賀県庁での冊子贈呈式



佐賀県内国土交通省入省2年未満の
職員研修会で災害歴史遺産を
本山会長が講義

まちなか防災2024 ～みんなで取組み水害に備えよう『白川の流域治水』～

NPO法人 白川流域リバーネットワーク ●見学者数:6月22日(土) 535名・6月23日(日)480名

熊本市中心街・下通りアーケードにおいて、多くの来訪者等に対し、白川で起きた過去の水害の写真、白川の特性と防災・減災に向けたパネル展示、洪水ハザードマップを使用した居住地域・市街地の洪水リスク認識を高める活動(マイトimeline作成等)等の水防災啓発活動を2日間実施しました。

また、「流域治水への取組み」として、降雨・浸水を再現したVR・AR、流域治水啓発映像、完成した阿蘇立野ダム、土砂災害対策を知るための土石流模型等を展示紹介しました。



白川水害リスクシミュレーションVR動画



6.26白川大水害回廊式展示



白川・緑川流域立体地図と
白川の水害リスク解説パネル



熊本市ハザードマップ



マイトimeline作成コーナー



土石流模型展示



阿蘇立野ダムコーナー



洪水VR体験



新市街側 浸水深表示とのぼり
AR体験

令和6年度 九州地域づくり協会 支援団体一覧表

広報活動支援事業 24団体

特定非営利活動法人 遠賀川流域住民の会
I LOVE 遠賀川

九州防災減災セミナー実行委員会
九州防災減災セミナー

特定非営利活動法人 はかた夢松原の会
多様な道路空間の利用～緑を活用した安全・安心の国体道路～

道守大川ネットワーク
道守活動

道守柳川ネットワーク
道守清掃事業 P6

道守佐賀会議
道守体験事業・道守交流会 P6

火山砂防フォーラム委員会
2024火山砂防フォーラム

デミー博士
土木の日2024
[SNSをジャックして土木の認知度を向上させるアクション]

特定非営利活動法人 道守長崎
道守支援事業

土木の日実行委員会
土木の日 熊本行事 ZOOM UP P6

おおいた建設人材共育ネットワーク
土木の日 大分行事

宮崎県「土木の日」実行委員会
宮崎県「土木の日」

日南「橋の日」実行委員会
第12回 日南「橋の日」イベント

日本風景街道大学実行委員会
第15回 日本風景街道大学 P7

宮崎「橋の日」実行委員会
第38回 宮崎「橋の日」イベント

道守みやざき会議
令和6年度 宮崎県内道守活動支援事業

みちづくし in 鹿屋2024 実行委員会
みちづくし in 鹿屋2024 P7

道守かごしま会議
道守かごしま会議座談会・研修会等(道守かごしま会議)事業

九州建設技術フォーラム実行委員会
九州建設技術フォーラム2024

インフラメンテナンス国民会議 九州フォーラム
インフラメンテナンス国民会議 九州フォーラム

海の中道「フラワーピクニック」実行委員会
海の中道フラワーピクニック2024 P7

(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部
令和6年度「地域の夢・アイデア発掘・活用事業」

(一社)九州橋梁・構造工学研究会(KABSE)
未来の建設インフラを担う九州地区大学・高専の若手人材ネットワークの育成とそれに伴う学生主体の実践的な研修会の実施

やまなみハイウェイ60周年記念実行委員会
やまなみハイウェイ斉清掃活動

地域活性化等支援事業

河川・道路愛護活動を通じた
地域活性化活動支援事業 [6団体]

道守おおむたネットワーク
国道208号道路愛護・地域活性化活動 P17

梅香る町梅林推進プロジェクト
町の美化を目的とした梅の木やその他花々の植栽とメンテナンス

本明川をきれいにしゅう会
本明川河川敷の除草・清掃・コスモスの植栽 ZOOM UP P17

特定非営利活動法人 拓生会
本明川河川敷への花の植栽による地域活性化事業 P17

白川の清流と緑を護る会
河川愛護活動

小島校区まちづくり委員会
河川愛護活動

環境(体験)学習による人材育成活動等
支援事業 [8団体]

直方川づくり交流会
リバーチャレンジスクール P18

特定非営利活動法人 アザメの会
アザメの瀬関連事業 ZOOM UP P19

自然と暮らしを考える研究会
ふるさとの水辺を生かす体験学習と人材育成 P18

天満町自治会
本明川魚つかみ取り大会

特定非営利活動法人 天明水の会
環境(体験)学習による人材育成活動等支援事業 P18

山崎川をきれいにする会
山崎川生き物マップ(やまさきがわいきものマップ) P19

始良川河川愛護会
ラブリバー団体支援事業

こうやま 川の少年団
川を体験する諸活動 P19

河川・道路等の愛護活動支援事業
[85団体]

久大生コン内環境美化委員会
ボランティア・サポート・プログラム

たんぼぼの会
ボランティア・サポート・プログラム

野多目大橋花クラブ
ボランティア・サポート・プログラム

大和ハウス工業株式会社ボランティア活動の会
ボランティア・サポート・プログラム

双葉工業株式会社
ボランティア・サポート・プログラム(VSP)

よしいコスモス街道実行委員会
ボランティア・サポート・プログラム

花と緑の会
一般国道10号小倉南区湯川新町地区 花壇の管理道路美化清掃

松和会
国道201号見立入口交差点及び周辺の美化と清掃活動

4町内環境美化委員会
国道208号道路愛護・地域活性化等活動事業

川原町老人クラブ
国道210号バイパス線歩道緑化活動

農楽苦会
今宿チューリップまつり

大牟田市民憲章推進委員会
大牟田市民憲章推進委員会 国道208号街路美化事業 P20

ごみゼロ青春探検隊いとしま
地域活性化支援事業

高坊二丁目南町内会
町内美化活動・花植栽

けやき通り発展期成会
道路等の愛護活動支援事業

株式会社 田舎暮らし
美化・清掃活動

不知火町公民館
不知火町公民館 国道208号道路愛護・地域活性化等活動

福国・橋守マイスター会
福国・橋守マイスター会活動

NPO法人門司港レトロ花の会
門司港地域における環境美化、整備、維持管理活動

葉隠会道守部会
一般国道34号外佐賀地区外道路美化活動

環境を守る会
道路愛護

多久市そうじの会
道路愛護(花の苗)

江北町女性ネットワークの会
道路清掃及び美化活動を目的とした地域女性活動の活性化事業 P20

クローバー・ロード清掃隊
ボランティア(清掃)活動

諫早市多良見町市布地区老人会『市寿会』
ボランティア・サポート・プログラム活動事業(一般国道34号多良見町市布バス停近辺)

潮見小学校区町内連絡会
ボランティア活動(国道緑化、清掃活動)

天満スマイルクラブ
ボランティア活動(国道緑化、清掃活動) P20

共新電設工業株式会社
ボランティア活動(清掃)

大菱電気工業 クリーン＆グリーン推進隊
ボランティア活動(清掃)

ロードスターズ
ボランティア長崎

九州ガス株式会社 大村支店
ボランティア長崎



竹友会

ボランティア長崎

玉東町 町区会

VSP 208号清掃、花壇管理事業

八代ドライビングスクール職員組合

ボランティア・サポート・プログラム

株式会社 森工業

ボランティア・サポート・プログラム

八嘉校区まちづくり委員会

ボランティア・サポート・プログラム

P21

稲佐地区会

ボランティア・サポート・プログラム

大津町商工会女性部

道路の愛護活動事業（環境美化運動）

南小国町ボランティア行動隊

道路及び河川敷の美化作業

西生石自治会

国道10号 西生石地区道路美化活動

別府市上人ヶ浜町自治会

国道10号 道守花壇（別府市上人ヶ浜）活動

生石港町 自治会

国道10号 別大国道清掃美化活動

竹田市立 菅生小学校

菅生ゴミ0（ゼロ）大作戦

顕徳町老人会デウスクラブ

道路愛護活動

豊友会

豊かな大分を目指そう大作戦（一般国道10号や大分川でのボランティア活動等を統合した名称としたもの）

P21

都城市市役所10号線通り会②

ボランティア・サポート・プログラム

内海地区自治会・公民館

ボランティア・サポート・プログラム

P21

日南海岸コバノセンナを育てる会

ボランティア・サポート・プログラム

ZOOM UP

P22

霧島会

ボランティア・サポート・プログラム

島山花いっぱい地域づくりの会

ボランティア・サポート・プログラム

バス停に花を飾る会（旧団体名：日南チヨウザメ養殖場株式会社）

ボランティア・サポート・プログラム事業

富士区

ボランティア・サポート・プログラム事業

鶴戸山をかつしやる協議会

ボランティア・サポート・プログラム事業

社会福祉法人 つよし会つよし学園成人部

ボランティア・サポート・プログラム事業

小吹毛井区福祉推進会

ボランティア・サポート・プログラム事業

日南市鶴戸小中学校

ボランティア・サポート・プログラム事業

大黒グループ

ボランティア・サポート・プログラム事業

宮崎日南生活ロード女性の会

ボランティア・サポート・プログラム事業

P22

青島地域まちづくり推進委員会

ボランティア・サポート・プログラム事業

旭建設株式会社

ボランティア・サポートプログラム活動

河頭町内会

ボランティア・サポート・プログラム

郷之原夢楽づくり協議会

VSP（220号清掃、植栽帯管理活動）事業

札元商工親睦会

VSP（220号清掃、植栽帯管理活動）事業

柗原地区振興会

VSP（国道220号線清掃・植栽管理活動）事業

新上橋電車通り会

ボランティア・サポート・プログラム

草牟田通り会

ボランティア・サポート・プログラム

伊敷町通り会

ボランティア・サポート・プログラム

鹿児島市立河頭中学校

ボランティア・サポート・プログラム

鹿温会ボランティアグループ

ボランティア・サポート・プログラム

平山お達者レディースクラブ

ボランティア・サポート・プログラム

旧市花壇サポートクラブ

ボランティア・サポート・プログラム

新和技術コンサルタント株式会社

ボランティア・サポート・プログラム

特定非営利法人 How to 21 Club

ボランティア・サポート・プログラム活動

P22

御陵下地区環境美化グループ

ボランティア・サポート・プログラム活動

麦生田西区自治会

ボランティア・サポート・プログラム事業

日置市高齢者クラブ連合会共進クラブ

ボランティア・サポート・プログラム事業

栄門通り会

ボランティア・サポート・プログラム

たるみず折鶴

国道220号 垂水荒崎パーキング植栽管理ほか活動

花壇 坂の上

道路等の愛護活動支援事業

黒崎干陸地を守る会

本明川河川敷への花の植栽による地域活性化事業

P23

大井手を守る会

大井手を守る活動

津留地区ふるさとづくり運動推進協議会

花いっぱい活動及び清掃活動

P23

特定非営利活動法人 コノハナロード延岡市民応援隊

コノハナロード百年校事業

花緑自治公民館

花緑柳河原川クリーン作戦

P23

赤江未来の会

魅力あるふる里の川づくり

地域資源の活用による地域活性化活動
支援事業

[11団体]

唐津街道むなかた推進協議会

地域周遊観光促進事業及び街道活用促進事業

豊の国風景街道推進協議会

日本風景街道・豊の国歴史ロマン街道

ZOOM UP

P25

歩く唐津街道の旅

令和6年度 街道遺産発見ウォーク事業
「歩く唐津街道の旅」

P24

ながさきサンセットロード振興会

日本風景街道「ながさきサンセットロード」推進事業

阿蘇くまもと路風景街道

やまなみハイウェイ美化活動・シンポジウム実行委員会

P24

日本風景街道おおいた海への道推進協議会

第六回 日本世間遺産学会 in 臼杵

九州横断の道やまなみハイウェイ協議会

日本風景街道「九州横断の道やまなみハイウェイ協議会」

日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会

令和6年度 日豊海岸浦々軒々水先案内環境整備事業

日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会

自転車旅のおすすめ事業

P24

かごしま風景街道推進協議会

かごしま風景街道周知啓蒙活動

P25

薩摩よりみち風景街道協議会

薩摩よりみち風景街道フォトコンテスト

P25

防災活動等支援事業

2団体

地域防災活動等

[2団体]

災害歴史を学ぶ会

沈黙の語り部たちから災害歴史を学ぶ

P28

NPO法人 白川流域リバーネットワーク

まちなか防災2024

P28

○の中の数字は掲載頁を表しています。

●の色の事業はZOOM UPのコーナーに掲載しています。

公益目的事業報告書

発行日／令和7年4月

発行者／一般社団法人 九州地域づくり協会

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目10-35(博多プライムイースト4階)

TEL(092)481-3781 FAX(092)481-3785

<https://www.qscpua.or.jp/>

